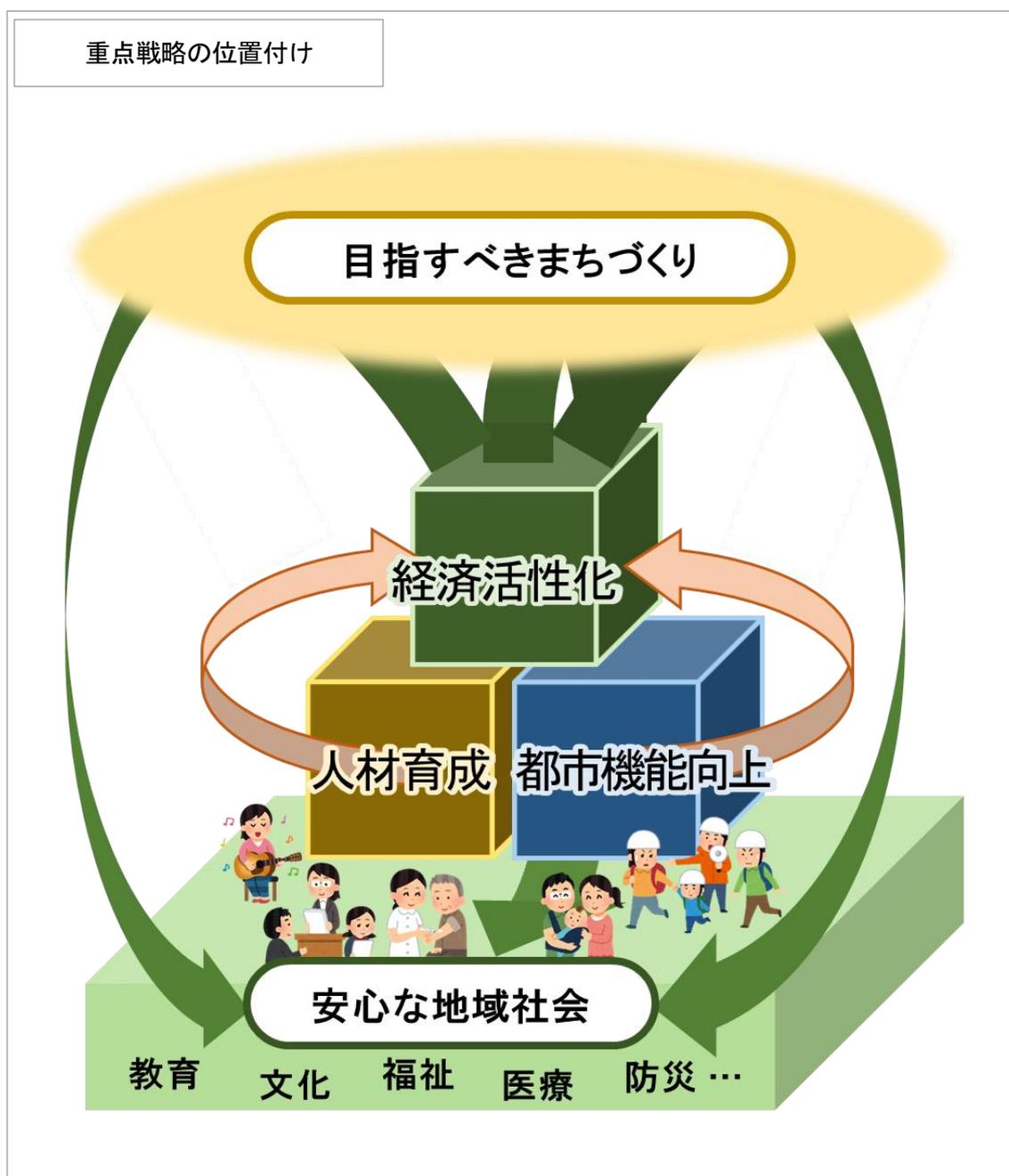


6 重点戦略

地域経済の発展は、まちの活力を高め、目指すべきまちづくりを実現するための重要な要因です。現在、本市の経済構造は、高付加価値化や低コスト化、技術力の向上などにより大きな変化を遂げている一方で、生産年齢人口の減少による生産力の低下や、人口減少による商品購買額の縮小などの多くの課題に直面しています。

本市では、「4 目指すべきまちづくり」を実現するために、市民が生まれ、育ち、生きがいを持って暮らすための基盤となる安心な地域社会の構築に取り組みつつ、今後10年間に重点的に取り組むべき政策として、「まちの活力を高める経済活性化戦略」「地域経済を担う人材育成戦略」「経済活動を支える都市機能向上戦略」の3つを「重点戦略」とし、ここに示します。

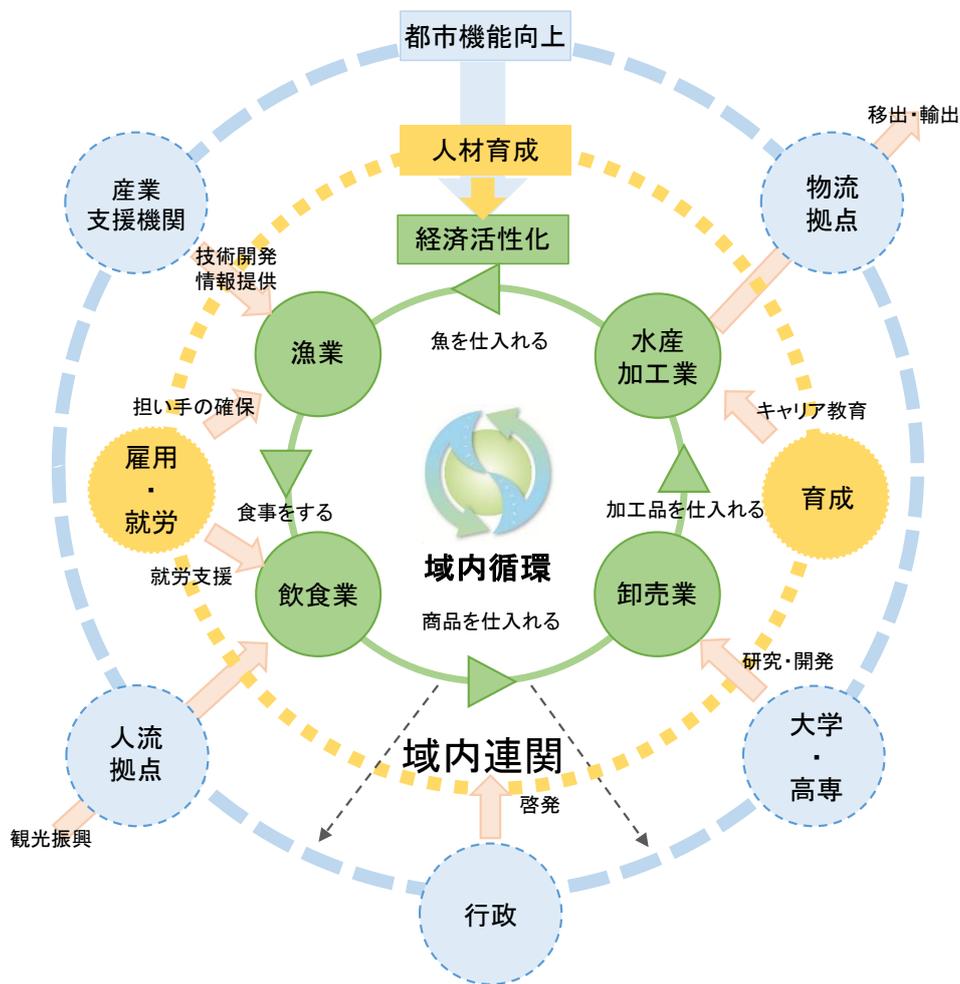


重点戦略の基本的な考え方

重点戦略では、まちの活力を高めるために重要な経済活性化を主軸として、経済活性化の主役となる人材の育成、そして、その舞台となる都市機能の向上について、経済、教育、都市整備など各分野を横断的に、それぞれの連関を高めながら取り組みます。

構成については、3つの戦略ごとに、まちづくり基本方針のもとで実現されている具体的な未来を、「将来のまちのすがた」としてあらかじめ描くことで目標を明確にしています。

重点戦略における域内連関のイメージ



※ イメージ図内の業種や取り組みは一例であり、様々な可能性があることに留意が必要です。

「いきないれんかん域内連関」とは、地域内の様々な主体がテーマを共有し、それぞれの強みや地域資源を生かしながら、付加価値の創造や地域課題の解決に向けて行動する考え方です。

域内連関に取り組むことで、地域のつながりや信頼関係は一層強まり、観光産業や地域コミュニティ、防災、福祉など様々な分野に大きな力を発揮します。

(1) まちの活力を高める経済活性化戦略

① 将来のまちのすがた

ア 釧路市には自然資源や食などの様々な地域資源があります。これらの資源の価値が改めて認識され、活用されています。

加えて、市民、団体、企業が域内循環の理念を共有し、自らの需要が自らの地域からの供給で賅われています。人、モノ、金などの地域の財が域内にとどまるとともに、地域の企業の連携によって、お互いを利用し合う仕組みが築かれています。

イ 観光産業を地域住民や事業者が担い、育てる体制が確立していることで、観光を産業振興の柱、地域創生の柱とする地域づくりが進み、活気ある観光のまち・釧路が実現しています。

あわせて、地域資源の高付加価値化や、他地域とは差別化された取り組みが進むことで釧路ブランドの浸透が図られ、外から稼ぐ力が強まっています。

そのため、交流人口が増加して来釧消費が高まり、海外や大都市圏との経済交流が活性化し販路が広がっています。

ウ 釧路市が取り組んできた域内循環によって築かれてきた地域の関係性がさらに強まり、農業や水産業の第1次産業と食品加工などの第2次産業、流通販売や医療、飲食サービスなどの第3次産業など、同業種、異業種を含めた域内の連関が高まっています。

域内の連関力が強まることによって、産業分野の新たな連携によるビジネスや付加価値が生まれています。

② 施策

- a 地域経済を発展させる基盤をつくるために、地域資源を守り、生かし、魅力を高めていきます。
- b 地元企業の活性化に向けて支援を行うとともに、市民や企業が地域内での人、モノ、金、情報の相互活用を深めることで、域内循環を推進していきます。
- c 長期滞在者や外国人旅行者などによる国内外からの交流人口の増加や来釧消費の拡大を図るため、効果的な情報発信を行うとともに、地域ならではの自然・気候・食などの魅力を生かした取り組みを進めます。
- d 他の地域との差別化や、ニーズの把握などの取り組みにより、「売れるモノづくり」や、販路の拡大を支援することで外から稼ぐ力を強化します。
- e さらなる生産性の向上、付加価値の向上を図るために、ものづくりの技術力を高める支援を進めます。
- f 自然資源、地元企業が有するものづくり技術、物流機能などの本市の強みを生かした企業誘致を進め、産業の活性化を目指します。
- g 情報技術による新たな産業間連携など、同業種、異業種による域内の連関力の強化を図りながら、地域産業の創発を促します。

(2) 地域経済を担う人材育成戦略

① 将来のまちのすがた

ア 将来の担い手である子どもたちや、就職を控えた新規学卒者、就労したばかりのステップアップが必要な新入社員、スキルアップが必要な現役労働者など、様々なライフステージに応じた人材育成が行われています。

このことによって、地域の技術が磨かれ、生産性の向上や付加価値の向上をもたらす確かな基盤ができています。

イ 高等教育機関との連携強化により新規大卒者等の市内への就職が増えるとともに、*UIターンや*リモートワークの促進により人材が確保されることで、優秀な人材が地元で活躍し、地域経済が活性化しています。

ウ 就労支援が進み、働きたい人が働ける環境が整っています。

企業との体験的・段階的なマッチングによる生活保護受給者の就労自立、障がい者の就労機会の向上を図る仕組みができています。

エ 釧路市が培ってきた先進的な技術が世界へと広がり、経済協力が進んでいます。

世界に挑戦する人材の育成が進み、本市の魅力が広く伝えられ、投資や消費が拡大しています。

② 施策

a 地場産品の活用による食育や職業体験、地域教育の推進などにより、子どもから大人までが本市に愛着や誇りを持つことができる取り組みを進めます。

b 地元企業の事業拡大に対する支援、創業の支援、あるいは企業誘致の推進により就業機会を増やすとともに、成長の段階に合わせて、地域に根ざした仕事の魅力をこれから働く人達に広く伝えていく取り組みを進めます。

c 地域経済を持続的に支えるため、試験研究機関や高等教育機関をはじめ、専門的知識・資格を持った人材の活用により、農林水産業の担い手や、ものづくりに携わる技術者、経営者などの育成を進めます。

d 若年者、女性、障がいのある人など様々な求職者の就労を支援するとともに、「アクティブシニア」が持つ豊富な知識・経験の活用を進めます。

e 経済的困難を抱えた人の就労自立のため、居場所づくりから就労支援までの取り組みを進めます。

f 水産資源や石炭、冷涼な気候などを本市の強みとして生かし、経済面での国際協力につながる人材の受け入れを支えます。また、そうした強みを生かしながら、海外でも通用する能力を持ち、活躍できる人材の育成を進めます。

*UIターン…「Uターン」は出身地に戻ること、「Iターン」は出身地以外の地方に移り住むこと、「Jターン」は出身地の近くの地方に移り住むことの3つの総称。

*リモートワーク…従業員の働く場所を在籍する会社のオフィスに限定せず、自宅やレンタルオフィスなど、会社から離れた(リモート)場所で業務を行う勤務形態。

(3) 経済活動を支える都市機能向上戦略

① 将来のまちのすがた

ア 陸海空の交通ネットワークの整備が進み、人やモノの流動性が高まって、地域間競争が厳しくなっています。釧路市は、整備効果を十分に発揮することで、ひがし北海道の人流・物流拠点としての役割を高めています。

また、地域の産業を支援する体制については、試験研究機関の機能向上や支援・交流連携の拠点整備により、地域の技術力が高まり販路が広がっています。

その結果、ひがし北海道における生産の拠点として都市機能が向上しています。

イ これまで培ってきた経験、技術、ノウハウが基盤となり、豊かな自然を資源として生かし交流拡大が進むとともに、高次医療機能が本市や近隣市町村の定住を支えています。

また、都心部では、商業、行政、観光交流、*交通結節点機能など、都市機能が集積しています。インバウンド対応など利用者のニーズに合った環境整備が進められており、機能の向上、にぎわいの創出につながっています。

その結果、*定住自立圏構想における「中心市」、ひがし北海道における交流の拠点として都市機能が向上しています。

② 施策

- a 地域経済を支える産業の持続的発展のため、地域の優位性を生かす視点をもって生産基盤の整備を推進します。
- b 地域資源の高付加価値化と生産技術の向上によって、外から稼ぐ力を支えるため、産業支援体制を整備します。
- c 地域間連携や拠点都市機能を強め、域外からの消費を呼び込むために、陸海空の交通ネットワークの充実を図り、人流や物流の活性化を支えます。
- d 定住自立圏構想における「中心市」として、医療など住民生活を支える機能や経済活動を支える都市機能を整備し、定住や交流の促進などにより、圏域の活性化に取り組みます。
- e ひがし北海道の観光拠点として、広域的な連携を強化し、それぞれの魅力を相互に補完することで、国内はもとより世界から訪れる旅行者の多様なニーズに対応した取り組みを進めます。
- f 世界に通用する交流拠点として、本市を訪れる外国人が快適かつ安全安心に滞在できるように、*ユニバーサルデザインの導入及び*ストレスフリー環境の整備に取り組みます。
- g ひがし北海道の中核都市として、釧路駅周辺を含む都心部の拠点機能の充実とにぎわい創出に取り組みます。

*交通結節点…複数の交通手段を相互に連携する乗り換え・乗り継ぎ箇所。鉄道駅、バスターミナル、駅前広場など。

*定住自立圏構想…中心市と近隣市町村が相互に役割分担し、連携・協力することにより、圏域全体として必要な生活機能等を確保する構想。

*ユニバーサルデザイン…文化・言語・国籍の違い、年齢・性別の差異、障がいの有無にかかわらず利用できる施設・製品・情報の設計。

*ストレスフリー環境…言語や文化の違い、障がいの有無にかかわらずストレスなく買い物や食事などができる環境。